

\\ /
む りょう
無料

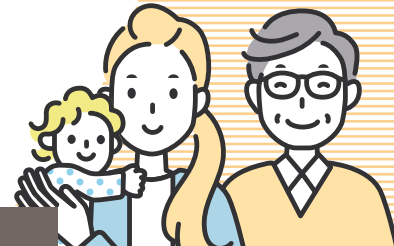
だれでも
さんか
参加
できます！

こく さい か し みん
国際化市民
フォーラム
in
T O K Y O

かくぶんかい
各分科会

250 名

\\ /
ZOOM
ウェビナー



とうきょう たぶんかきょうせい いっぼさき
東京がめざす多文化共生、一歩先へ

ねん がつ にち ど よう び
2025 年 2 月 15 日 (土曜日)

A ぶんかい
分科会 10:00-12:30

し みん ささ たぶんか
市民が支える多文化コミュニケーション
～コミュニティ通訳の役割と地域市民ができること～

B ぶんかい
分科会 14:30-17:00

がいこく こ
外国につながる子どもたちが
かつやく とうきょう め ぞ
活躍できる東京を目指して
しょうちゅうがっこう まな みらい ひら
～小中学校の学びが未来を拓く～

C ぶんかい
分科会 14:30-16:30

たぶんかきょうせい ぼうさい
多文化共生と防災
さいがい そな きょうじょ ちから
～災害に備える共助の力～

ねん がつ とない がいこくじんじゅうみん やく まんにん じんこう
2024 年 10 月、都内の外国人住民は約 70 万人、人口の 4.9% を超えました。外国につながる人々も含めると、
その総数は計り知れません。わたしの身の回りでは、おおくのがいこくじん、にほんしゃかい いちいん せいかつ かつやく
しています。さいがいたいおう こ きょういく ざいじゅうがいこくじん と ま かだい にほんしゃかい かだい
災害対応や子どもの教育など、在住外国人を取り巻く課題は、日本社会の課題でもあります。
このテーマにしょうてん あ とうきょう たぶんかきょうせい すがた みな いっしょ かんが
個々のテーマに焦点を当てながら、東京にふさわしい多文化共生の姿について、皆さんと一緒に考えます。

もうしこみ
申込
ほうほう
方法



ひだり か き
左の QR コードまたは下記 URL より
もう こ
お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/TYcXvGrhLB>

ぼしゅうかいし
募集開始

ねん がつ にち きん
2024 年 12 月 27 日 (金)

ぼしゅうしめきり
募集締切

ねん がつ にち にち
2025 年 2 月 9 日 (日)

ていいん しだい し き
※定員となり次第、締め切らせていただきます

し むきよく と あ さき
事務局・問い合わせ先

公益財団法人東京都つながり創生財団 多文化共生課
〒163-0808 新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 8 階
TEL : 03-6258-1237
URL : <https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp/>

【主催】国際交流・協力 TOKYO 連絡会 公益財団法人東京都つながり創生財団
【共催】東京都 【後援】独立行政法人国際協力機構 (JICA) 一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR)

国際化市民フォーラム in TOKYO

とうきょう たぶん かきょうせい いっぽさき
東京がめざす多文化共生、一歩先へ

A 10:00-12:30

市民が支える多文化コミュニケーション ～コミュニティ通訳の役割と地域市民ができること～

日本で暮らす外国人にとって、コミュニケーション手段はとても大きな問題です。行政窓口や医療現場、教育などの場面で「コミュニティ通訳者」として活躍できる人材の育成と有効活用が求められています。一方で、少数言語をはじめすべての言語や場面で通訳を用意することは、現実的ではありません。地域の市民が文化の違いなどを理解し、相手に寄り添う気持ちを持つことによって、高度な語学スキルがなくても、やさしい日本語・やさしい英語などで外国人住民とコミュニケーションがとれます。多文化共生社会における「コミュニケーション力」について、一緒に考えましょう。

- まつい かずひさ 氏 ●司会進行
独立行政法人国際協力機構 東京センター 市民参加協力第一課
- いいた なみこ 氏 ●基調講演
立命館大学衣笠総合研究機構 専門研究員
- すぎた りえ 氏 ●事例発表
(一社) 多文化社会専門職機構 認定事業 相談通訳者認定者
- たかだ ゆかこ 氏 ●事例発表
特定非営利活動法人 国際活動市民中心
コーディネーター クリニカルソーシャルワーカー
- ふじわら のりこ 氏 ●事例発表
特定非営利活動法人 たちかわ多文化共生センター
登録語学ボランティア

B 14:30-17:00

外国につながる子どもたちが 活躍できる東京を目指して ～小中学校の学びが未来を拓く～

外国につながる子どもたちの教育環境の整備は、東京が多様性を尊重し続けるうえで欠かせない重要な課題です。これまでのフォーラムでは、外国につながる子どもたちの高校進学やその支援について取り上げてきましたが、今回は小中学校での取り組みに焦点を当てます。

本分科会では、現場で児童・生徒の教育に携わっている学校関係者を迎え、小中学校での学びが子どもたちの活躍の礎となることを確認します。多文化共生社会の実現に向けて、国籍やルーツを問わず、すべての子どもたちの学びを支えるための環境づくりについて、一緒に考えてみませんか。

- さいとう ひさえ 氏 ●司会進行
小野 千穂 氏
- ふるかわ みゆき 氏 ●事例発表
西東京市多文化キッズコーディネーター
- あおやま ひろこ 氏 ●事例発表
青山 弘子 氏
江戸川区立小岩小学校日本語学級 主任教諭
- たなか あき 氏 ●事例発表
田中 阿貴 氏
港区立六本木中学校日本語学級 主任教諭
- なかむら なつほ 氏 ●事例発表
中村 夏帆 氏
岩倉市立南部中学校 教諭 (日本語教室担当)
- わびこ ゆきこ 氏 ●事例発表
我彦 有希子 氏
八王子市立南大沢小学校日本語学級 主任教諭

C 14:30-16:30

多文化共生と防災 ～災害に備える共助の力～

災害時、外国人はしばしば「災害弱者」と見なされがちですが、実際には地域に根付いた多くの外国人住民がいます。地域活動に参加する彼らは、災害時においても支援者としての役割を果たす力を秘めています。

本分科会では、外国人住民が地域社会で災害時の支援を促進している事例や、外国人も参画する平時の防災活動について紹介します。

災害に備える新たな共助の視点を考え、地域の絆を深めるきっかけとなることを目指します。

- みなもと りょうこ 氏 ●司会進行
源 亮子 氏
独立行政法人国際協力機構 東京センター 市民参加協力第一課
- よう し 氏 ●基調講演
楊 梓 氏
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター リサーチフェロー
- おくた ゆたか 氏 ●事例発表
奥田 裕 氏
東京都住宅供給公社 公社住宅事業部 公社管理課
- ながお かおる 氏 ●事例発表
長尾 薫 氏
中野区 総務部 防災危機管理課
- かしむら たかや 氏 ●事例発表
柏村 貴也 氏
中野区 国際交流協会
- たじま みえ 氏 ●事例発表
田島 実恵 氏
中野区外国人防災リーダー
- きょう しゅうえい 氏 ●事例発表
姜 秀英 氏
中野区外国人防災リーダー

